

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

当社は、「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、経営理念に掲げている「当社の社員は幸福でなければならない。そのため、地域の人・環境へ感謝しクリエイティブなハッピーコミュニティを共創する」、「『ありがとう』の声が自然と飛び交う、そんな会社」を体現するためSDGsの達成に向け、下記の取り組みを実施していくことを宣言します。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)	
☑ 環境	リサイクル・再利用の推進 ・IT機器の使用年数延長	項目	パソコンの平均使用年数を 現在の4年から1~2年延長する。
☑ 社会		現状(2025年)	更新時(3年後)
□ 経済		4年	5~6年
☑ 環境	メンタル予防とストレスケア ・相談窓口の設置と活用	項目	①全社会議での周知回数 ②ストレスチェックアンケート実施回数
☑ 社会		現状(2025年)	更新時(3年後)
□ 経済		①全社会議での周知回数 2回/年 ②ストレスチェックアンケート実施回数 1回/年	①全社会議での周知回数 2回/年 ②ストレスチェックおよびハラスマントアンケート実施回数 各1回ずつ/年
☑ 環境	耕作放棄地・荒地の再活用 ・太陽光発電ならびに系統用蓄電池などを用いた荒地活用とエネルギー開発	項目	自家発電所 用地開発坪数
☑ 社会		現状(2025年)	更新時(3年後)
☑ 経済		累計16,000坪	累計55,000坪

「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標項目と、現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。前期と同じ取組みの場合は、現状の数値と下記の前項実績が一致しているかをご確認ください。

<パートナーシップ>

グループ企業(株式会社アジアンエコテック)と連携し、お客様に提供するサービスの品質向上・安全管理に取り組みます。また、支援企業(NBCコンサルタント㈱)協力の元、人事評価制度のプラットフォーム強化や営業力強化を図り、従業員一人一人がいきいきと働ける職場環境の整備に努めます。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況>

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☑ 環境	農地に太陽光パネルを設置するソーラーシェアリングと合鴨農法による無農薬の作物栽培を組み合わせた新しい農業形態の実現を目指し、2021年より鹿児島県喜入町に試験場を建設。太陽光発電の稼働とパネル下での合鴨農法による作物育成の実証実験を鹿児島・熊本営業所共同で実施する。くまもと合鴨水稲会様など、農業組合・団体の研修会にも参加している。	ソーラーシェアリング農場での 稲作育成および発電実証実験中。 2024年までに當農場における要件となる周辺農地の 平均水準と比べ8割以上の収穫量達成を目指す。 合鴨農法に取り組む農業組合・団体の研修会に年1回以上 参加し、意見交換や情報収集、現地視察を行う。
	進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、未達成の場合理由記載)	前期の指標に対する実績
	未達成 【理由】本業の事業内容再編を受け、2023年より活動を休止。今後については現時点で未定。	0回
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
□ 環境	業務改善や目標数値を可視化し、公平・公正な評価を行うことで、社員のやりがいを高め、一人一人が生き生きと活躍できる職場づくりを目指し、2022年2月より人事システムウェアによる人事評価制度を導入。本年秋より本格運用し、従来の評価制度からの改善と組織成長、離職率の数値など効果測定を実施する。	2024年までに人事評価制度導入による社員の満足度 計測を目的としたアンケートを1回実施する。
	進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、未達成の場合理由記載)	前期の指標に対する実績
	達成 【状況】意義ある評価制度として運用すべく、2022年の開始以来、試験運用と並行して定期的に検討会を開催し、改善・プラットフォームを実施。上層部・従業員と共に当制度の理解も浸透した為、2025年4月より査定内容を給与に反映。今後は半期の目標達成状況に応じて賞金のベースアップや見直しを行う。	アンケート実施 1回
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
□ 環境	社員のワークライフバランスに応じたテレワークの導入や男性社員の育児休暇取得を推進。更新時には実際の取得・導入実績件数を報告する。	年2回の全社員会議で取得推進を促す。2024年度までにテレワーク時の条件・各種規則を決定・整備し、就業規則にも掲載する。2024年または次回更新時までに該当 累計実績も報告する。
☑ 社会		
☑ 経済		
	進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、未達成の場合理由記載)	前期の指標に対する実績
	達成 【状況】社内ポータルで在宅勤務規定、就業規則、育児介護休業規定などを公開し、従業員全員が閲覧できるよう展開。育児休暇やライフワークバランスに応じた就業体系の変更利用も引き続き推進し、長く働きやすい職場環境づくりを図る。	●育児休暇取得 4名 (女性3名・男性1名) ●ライフワークバランスなど必要に応じた就業体系の変更(テレワーク)3名(女性1名・男性2名) ●社内ポータルを活用した各種規則関係の情報展開
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☑ 環境	太陽光発電設置作業、リフォーム作業等、工事現場で出る電材のくずをリサイクル会社にて換金し、熊本市子どもの未来応援基金(旧エンゼル基金)などに募金、慈善活動を行つ。その他、子育て支援啓発活動などの活動支援を行う	リビング新聞主催「はじめてばこ」に協賛(2021年~2022年) 募金については2024年までに1回以上行う。※資材の換金額が一定額になったところでの募金 【過去実績】 2017年・2016年・2014年
☑ 社会		
☑ 経済		
	進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、未達成の場合理由記載)	前期の指標に対する実績
	達成 【状況】2022年11月に熊本県合志市へ企業版ふるさと納税の寄附を実施。	募金実績 1回

「三側面」「前記のSDGsに関する重点的な取組み」「前記の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま記載してください。

「取組みの進捗状況」には、前記の重点的な取組みの実施状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

「前記の指標に対する実績」には、「前記の指標(数値目標)」に対する実績を数値を用いて記載してください。

※提出前に全てセルが青色から白色に変更になっているかご確認ください。